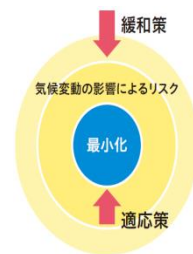


東京都気候変動適応方針の概要

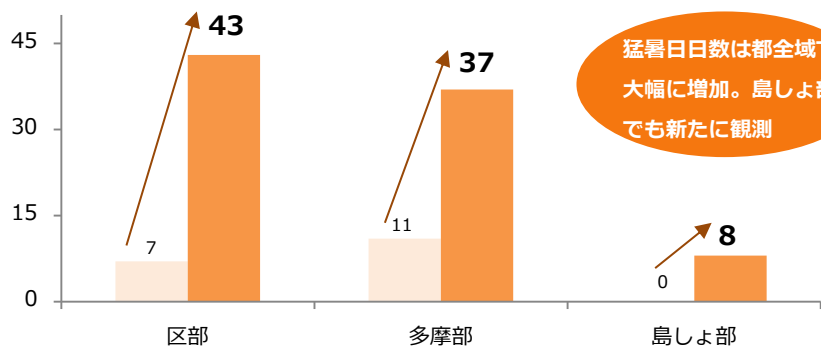
本方針の目的と位置付け

- 近年の猛暑や豪雨など、気候変動による深刻な影響は、既に私たちの身近な生活にも及んでいる
 - CO₂ 排出を削減する「緩和策」に加え、気候変動の影響による被害を回避・軽減する「適応策」にも取り組む必要
- 都内の気候変動影響を踏まえ、自然災害、健康、農林水産業など幅広い分野での被害の回避、軽減に向けた考え方を示す
 - 気候変動適応法に基づく**地域気候変動適応計画の策定に向けた方針**として、現時点での考え方を取りまとめたもの



将来の気候・気象の変化予測

- 最も気候変動が進んだ場合における年間平均猛暑日の変化予測（21世紀末） -



適応に関する基本戦略

- ① 都施策の全般にわたり、気候変動への適応に取り組む
- ② 科学的知見に基づく気候変動適応の推進
- ③ 区市町村と連携し、地域の取組を支援
- ④ リスクを含めた情報発信を進め、都民の理解を促進
- ⑤ C40など国際協力を推進し、都市間連携を加速

分野別の代表的な施策例

<p>自然災害</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 時間75ミリ・65ミリ対応の達成に向けた調節池等の整備 ✓ 下水道の雨水排除能力を増強する雨水貯留施設等の整備 ✓ 大型化する台風等の自然災害に対応するための無電柱化の推進 ✓ 「東京マイ・タイムライン」の普及拡大 ✓ 大規模地下街や地下鉄等における浸水対策 ✓ 「やさしい日本語」による防災普及啓発 	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 暑さを軽減する都市緑化の推進 ✓ 東京2020大会の暑さ対策の知見・ノウハウをレガシーとして活用 	<p>水資源・水環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 水道水源林の適正な管理 ✓ 原水水質の変化に的確に対応可能な浄水処理技術の導入
<p>農林水産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 大型化する台風にも耐えることができ、猛暑にも対応できる強靱な農業施設の整備 	<p>自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 気候変動影響も考慮した生物多様性戦略の策定 	



無電柱化の推進



実施体制

- 2020年度末までに法に基づく適応計画を策定し、全庁で連携しながら適応策を推進
- 法に基づく**地域気候変動適応センター**の設置 ※ 東京都環境科学研究所への設置に向け調整